

清川村教育委員会会議録

日 時 令和4年11月29日(火) 午前10時25分から11時20分
場 所 せせらぎ館3階 研修室
出席委員等 教育長 山田一夫、職務代理者 今野郁夫、委員 加藤しのぶ、
委員 橋本直人、委員 山田比呂美
事務局 (井川参事兼指導主事、相原学校教育課長、
中澤生涯学習課長、井上副主幹、南波指導主事)

議事日程

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 案件
 - (1) 10月会議録の承認について
 - (2) 教育長の報告
 - (3) 「清川の教育」について
 - (4) 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について
 - (5) その他
 - (6) 教育支援委員会審議結果について
4. 次回の会議日程
5. 閉会

開会 (午前9時)

教育長あいさつ

それでは、総合教育会議に引き続きありがとうございます。よろしくお願いいたします。

本年度の修学旅行につきましては、11月の11・12日で緑小が日光の方面に参りまして、これで全て終了となりました。引率で行かれた教頭先生に聞いたところによりますと、今回も修学旅行はタブレット持参で行ったものですから、タブレットにいろいろと必要なものを記録し、その後の研究に生かすということを想定して実施したとのことでした。なかなかこのような取り組みをする学校は無いようで、これを見た他の学校の子どもたちがびっくりしていたということも伺いました。そういった面では、タブレットを有効に使っていただいていると感じたところでもあります。

また、18日には、神奈川県教育委員会連合会の研修会が茅ヶ崎の文化会館で行われました。講演等があったわけなのですが、実りある研修ができた

のではないかと思います。参加していただきありがとうございました。

また、本日から児童生徒の作品展が（村内の幼稚園と保育園を含めた作品展が）せせらぎ館の1階で12月5日まで開催されます。総合教育会議でも話したのですが、非常にいろいろな作品が出ておりまして、子どもたちの、そういった芸術性といいますか、子どもたちには素晴らしい才能があるのだと改めて感じたところでもあります。

12月3日から、今年もいよいよ宮ヶ瀬のクリスマスがありますが、今年は斬新な取り組みが見られます。実は、宮ヶ瀬のクリスマスにおいて、緑小と宮ヶ瀬小の児童が、缶バッジを入れたカプセル（正式名称を「ワクワク清川カプセル」という）を100円ガチャのようにして、販売してくれるというものです。ちなみに、3日の日の開会式に、子どもたち2人（宮ヶ瀬小の子）が参加してくれます。カプセルの中には、提供で特産品のお肉が当たる券なども入っているそうです。こういう意識を持つことがとても大切なことでありまして、こういったことを通して子どもたちも大きなセールスをしてきているのだと思うところでした。なかなか学校の先生も大変なのですけれども、学校とうまくタイアップしながら効果的な学習を進めて行くということもありがたいと思っているところでもあります。そのようなことで、いろいろな仕掛けをすることが、子どもたちの成長につながっていくのかなとつくづく感じたところです。

引き続き、教育委員会会議、よろしく願いいたします。

案件（1）10月会議録の承認について

◎ 別紙「資料1」会議録（案）のとおり、承認されました。

案件（2）教育長の報告

◎ 教育長から別紙「資料2」により、教育長の動向について報告をしました。

*質疑なし

案件（3）「清川の教育」について

◎ 事務局から別紙「資料3」により「清川の教育」について説明をしました。

*先の総合教育会議で議論したので特に質疑はなし。

案件（4）令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

◎ 事務局から別紙「資料4」により「令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果」（以下「学状」という。）について説明をしました。

委員 学状の各個人の結果は、学校の先生はもちろん、教育委員会の方でも把握してらっしゃるのですよね。人数がとても少ない中で、名前を挙げる必要はないのですが、もう少し1人ひとりの学習状況がわかるような表やグラフがあれば、全体というよりも個々の生徒の指導に、もう少し生かせるのではないかと思います。大きな学校だと大きな括りができるのですが、清川はよりきめ細やかな指導に結び付けられ、個々に反映させることができるのではないかと思います。そして、個々のそれぞれの特徴をさらに伸ばすことができるのではないかと思います。

事務局 ここにまとめてあるのは、あくまでも宮ヶ瀬小・緑小といった括りではなく清川村としてあげさせてもらっています。個人の結果については、もちろん個人にお返しもしておりますし、学校でも把握し、それぞれの指導に生かすことができるようにしています。1人ひとりの指導に生かすことができるというのが本村の強みでもありますし、各学校においては、全てを見て1人ひとりの指導に生かすようお願いしております。

委員 一貫校ができるのであれば、系統的な学習の積み重ねができるのではないかと思います。

委員 小さな村だからこそ、全体の正答率を分析するより、個人の結果に合った個別の指導をする方が効率的で、成果が上がると感じました。

委員 調査が4月で、11月半ば過ぎに報告では、この結果をいつ生かすのかという話です。一貫校であれば、結果を改善サイクルに結び付けやすくなると思います。

委員 家庭学習が定着していないようですが、やはり、家庭との協力体制のもとに課題解決に結び付けることが必要ではないかと思います。

委員 小さな村であり、小さな学校なのだから結果がプラスに働かないのであれば、そもそも学状に参加しないという選択もあるのではないかと感じました。

委員 どのような形でホームページにアップするのですか。

事務局 この資料をPDFファイルに変換したものをアップします。

案件（5）その他

◎ 事務局から別紙「資料5」により「令和4年12月・令和5年1月分行事予定」について説明をしました。

◎ 事務局から「清川村コミュニティスクール研修会」の延期について連絡をしました。

◎ 事務局から「はたちのつどい」の方向性と進捗状況について説明しました。

案件（6）教育支援委員会審議結果について

◎ 事務局から別紙「資料6」により「教育支援委員会審議結果」について説明をしました。

*この案件については、個人情報を取り扱うことから、審議を非公開とします。

*審議は非公開のため、意見等は会議録に記載しません。

次回の会議日程

◎ 次回の教育委員会会議は、調整した結果、令和4年12月22日（木）午前9時からで決定しました。（せせらぎ館3階 研修室）

閉会

職務代理者 閉会宣言（午前11時20分）

令和4年12月22日

教 育 長 山田 一夫

教育長職務代理者 今野 郁夫

委 員 加藤 しのぶ

委 員 橋本 直人

委 員 山田 比呂美